

2024年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月29日

上場会社名 株式会社勸楽ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 5573 URL <https://www.doraku-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西島 富久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)滝安 美弘 TEL 03-5577-5333
 中間発行情報提出予定日 2023年12月27日 配当支払開始予定日 —
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期中間期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	1,362	△7.7	△7	—	△10	—	△0	—
2023年3月期中間期	1,476	—	51	—	51	—	48	—

(注) 中間包括利益 2024年3月期中間期 0百万円 (△99.7%) 2023年3月期中間期 49百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	△1.72	—
2023年3月期中間期	88.44	—

- (注) 1. 当社は、2022年3月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため2023年3月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がなく、また、2024年3月期中間期は、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	1,394	808	57.6
2023年3月期	1,412	813	57.3

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 803百万円 2023年3月期 809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	9.00	9.00
2024年3月期	0.00	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2024年3月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,480	13.4	152	△10.3	160	△12.0	107	△26.5	194.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期中間期	550,000株	2023年3月期	550,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期中間期	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年3月期中間期	550,000株	2023年3月期中間期	550,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染法上における位置づけが「5類感染症」へ移行されたことに伴い、個人消費やインバウンド需要の回復、企業の設備投資の増加など経済活動の正常化が進み、国内景気は穏やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引締めに伴う景気の下振れ懸念、円安の進行を背景とした資源及び原材料価格の高騰等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループが属するシステム開発事業分野については、テレワークなどの働き方改革やDX（デジタルトランスフォーメーション）化が更に進展することによる需要の高まりにより、こうした新しい事業に対応した企業は好業績を上げています。コロナ禍の影響で延伸や中断となっていたIT投資プロジェクトも再開し、ITサービス事業者の受注状況は回復しつつあり、国内ITサービス市場はプラス成長に回帰すると市場予測が発表されています。

当社グループはシステム開発事業について、既存顧客との取引拡大に加え、新規顧客の開拓、新規ソリューション（企業経営管理ソリューション）の拡大を推進してまいりました。現在の主力業務である既存顧客との取引が堅調に推移するとともに、DX化やシステム開発の大型案件を受注しております。一部大規模案件の完成が延期となりましたが、当連結会計年度（2024年3月期）内に完成予定のため、当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました業績予想値からの変更はございません。

以上のような背景のもと、当中間連結会計期間における売上高は1,362,750千円（前年同期比7.7%減少）、営業損失は7,040千円（前年同期は51,788千円の営業利益）、経常損失は10,227千円（前年同期は51,712千円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失は946千円（前年同期は48,642千円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

なお当社グループの報告セグメントはシステム開発事業のみであり、その他の事業は開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(ア) 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ45,395千円減少し、983,559千円となりました。これは主として、売掛金が71,126千円減少したことが要因であります。

(イ) 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ27,642千円増加し、411,421千円となりました。これは主として、ソフトウェア仮勘定が27,270千円増加したことが要因であります。

(ウ) 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8,435千円増加し、557,296千円となりました。これは主として、未払金が9,954千円増加したことが要因であります。

(エ) 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ21,371千円減少し、29,013千円となりました。これは主として、長期借入金が21,465千円減少したことが要因であります。

(オ) 純資産

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,817千円減少し、808,670千円となりました。これは主として剰余金の配当4,950千円を実施したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、453,243千円（前年同期は445,862千円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は10,149千円（前年同期は56,538千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失の計上14,610千円、棚卸資産の増加額104,795千円、売上債権の減少額71,126千円、減価償却費の計上34,680千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は52,338千円（前年同期は18,825千円の使用）となりました。これは主として、無形固定資産の取得による支出55,059千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は28,305千円（前年同期は30,972千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出23,355千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2024年3月期）の連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました業績予想値からの変更はなく、売上高3,480百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益152百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益160百万円（前年同期比12.0%減）、親会社株主に持続する当期純利益107百万円（前年同期比26.5%減）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	544,036	453,243
売掛金	394,006	322,879
仕掛品	42,292	140,892
前払費用	3,524	3,316
その他	45,095	63,227
流動資産合計	1,028,955	983,559
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	37,840	36,983
工具、器具及び備品（純額）	20,796	17,927
有形固定資産合計	58,637	54,911
無形固定資産		
ソフトウェア	161,660	160,053
ソフトウェア仮勘定	-	27,270
無形固定資産合計	161,660	187,323
投資その他の資産		
投資有価証券	10,500	-
繰延税金資産	48,694	63,915
関係会社株式	21,032	21,032
その他	84,389	84,237
貸倒引当金	△1,135	-
投資その他の資産合計	163,480	169,185
固定資産合計	383,778	411,421
資産合計	1,412,734	1,394,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,313	138,546
1年内返済予定の長期借入金	49,377	47,487
未払金	112,814	122,768
未払費用	23,973	26,981
未払法人税等	20,352	477
未払消費税等	29,164	12,593
賞与引当金	138,692	128,021
その他	42,173	80,420
流動負債合計	548,861	557,296
固定負債		
長期借入金	21,465	-
資産除去債務	28,920	29,013
固定負債合計	50,385	29,013
負債合計	599,246	586,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,500	42,500
利益剰余金	766,807	760,910
株主資本合計	809,307	803,410
非支配株主持分	4,181	5,259
純資産合計	813,488	808,670
負債純資産合計	1,412,734	1,394,981

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,476,364	1,362,750
売上原価	1,023,134	899,242
売上総利益	453,229	463,507
販売費及び一般管理費	401,440	470,547
営業利益又は営業損失(△)	51,788	△7,040
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	-	307
助成金収入	757	682
受取保険金	3,000	-
その他	1,379	987
営業外収益合計	5,139	1,979
営業外費用		
支払利息	250	122
為替差損	4,912	5,044
その他	52	-
営業外費用合計	5,215	5,166
経常利益又は経常損失(△)	51,712	△10,227
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,383
特別損失合計	-	4,383
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	51,712	△14,610
法人税、住民税及び事業税	1,341	477
法人税等調整額	629	△15,221
法人税等合計	1,970	△14,743
中間純利益	49,741	132
非支配株主に帰属する中間純利益	1,099	1,078
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	48,642	△946

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益	49,741	132
中間包括利益	49,741	132
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	48,642	△946
非支配株主に係る中間包括利益	1,099	1,078

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	626,183	668,683	2,168	670,851
当中間期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する 中間純利益		48,642	48,642		48,642
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)				1,099	1,099
当中間期変動額合計	-	43,692	43,692	1,099	44,791
当中間期末残高	42,500	669,875	712,375	3,267	715,643

当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	766,807	809,307	4,181	813,488
当中間期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する 中間純損失 (△)		△946	△946		△946
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)				1,078	1,078
当中間期変動額合計	-	△5,896	△5,896	1,078	△4,817
当中間期末残高	42,500	760,910	803,410	5,259	808,670

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	51,712	△14,610
減価償却費	30,494	34,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△1,135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,107	△10,671
受取利息及び受取配当金	△2	△309
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	4,383
支払利息	250	122
売上債権の増減額 (△は増加)	45,029	71,126
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△60,221	△104,795
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,156	6,232
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,142	△16,570
その他	△11,426	41,625
小計	55,957	10,078
利息及び配当金の受取額	2	309
利息の支払額	△250	△122
法人税等の支払額	△19,611	△30,635
法人税等の還付額	20,440	10,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,538	△10,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△505	△1,558
無形固定資産の取得による支出	△17,929	△55,059
投資有価証券の売却による収入	-	6,117
保険積立による支出	△389	△389
長期前払費用の取得による支出	-	△1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,825	△52,338
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△26,022	△23,355
配当金の支払額	△4,950	△4,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,972	△28,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,741	△90,793
現金及び現金同等物の期首残高	449,121	544,036
現金及び現金同等物の中間期末残高	455,862	453,243

（5）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、システム開発事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。